

第23回オール岐阜コンテスト委員長講評

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、今回のコンテストの開催が大変危惧されましたが、本県においては直前に「緊急事態宣言」が解除され、マルチOP部門をなくすという一部規約の変更はありましたが、何とか予定どおりの日程で開催できました。

そんな状況にもかかわらず、今回は参加局が県内局82（昨年57）、県外局215（同163）、合計297局（同220局）と、昨年比35%もの大幅増となりました。参加されました皆様方に深く感謝申し上げます。

さて、今回もログの審査を行っているときに気づいた点がいくつかありました。ここに掲げさせていただきますので、これを今後の参考とされ、せつかくの交信が減点とならないように注意していただくようお願いします。

1 サマリーシートの必須事項はすべて記入してください。

JARL制定の様式（または様式に準じて）で作成をお願いしています。電子ログについては、審査が容易にできるR1.0の形式を推奨していますが、R2.0でもOKです。ただ、いずれの場合にも必須項目は漏れなく記入してください。記入なき場合にはチェックログ扱いとすることがあります。

2 ログシートには適切な表記をお願いします。

ログシートは交信日時、バンド、モード、コールサイン、送信ナンバー、受信ナンバー、マルチ、ポイントまで適切な表記をお願いします。交信時刻がコンテスト開催時間外であったり、コールサインと県ナンバーが一致しなかったり（交信相手が岐阜県内局なのに県ナンバーが関東）、モードとRS(T)が一致していない（SSBの交信で599を送っていたりCWなのに59となっているなど）ものがあり、減点としました。

ログシート記載例

DATE	TIME	BAND	MODE	CALLSIGN	SENT No	RCV No	MULTI	PTS
2020-06-14	09:55	144	SSB	JA2***/2	59 1901	59 19008	19008	1
2020-06-14	09:59	144	CW	JH2***	599 1901	599 19008	-	1

今回は、残念ながらシングルOP部門のみの開催となりましたが、次回こそは通常どおりに開催できることを願っております。またのご参加をよろしくお願いいたします。

岐阜県支部コンテスト委員会 委員長 田原充 JE2QBL